スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

静岡県 裾野市

自 治 体 名 ： 静岡県裾野市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 055-995-1837

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

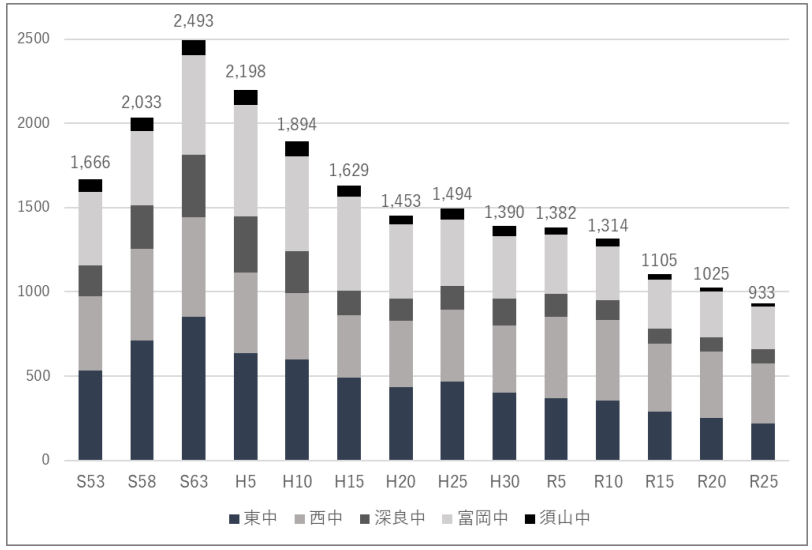
基本情報

面積	138.4 ㎢
人口	48,869 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	1,347 人
部活動数	47 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

・人口減少等に伴い、軟式野球部については、各校単独でチームを組める状態でなく、市で1チームの合同チームとして活動している。また、小規模中学校も２校あり、自分のやりたい部活動がない。さらに、受け皿となる総合型の地域クラブがない。そのために、NPO法人アクティブすそのを立ち上げ、地域クラブの受け皿の強化と生徒・保護者のニーズに沿いながら、学校や行政を含め全体をコーディネートする。陸上競技部については、先行して休日の部活動を地域クラブに展開している。地域展開を進める上で、指導者の確保や保護者の送迎負担等の課題があり、検討を進めている。令和９年度夏以降、休日の部活動は地域クラブ活動へ展開する。

裾野市立中学校の生徒数の推移



【課題】
生徒数の減少に伴い、将来にわたり子供たちがスポーツ活動に継続して親しむことができる機会の確保を他市町と協力しながら、行う傾向が大きくなることが想定される。

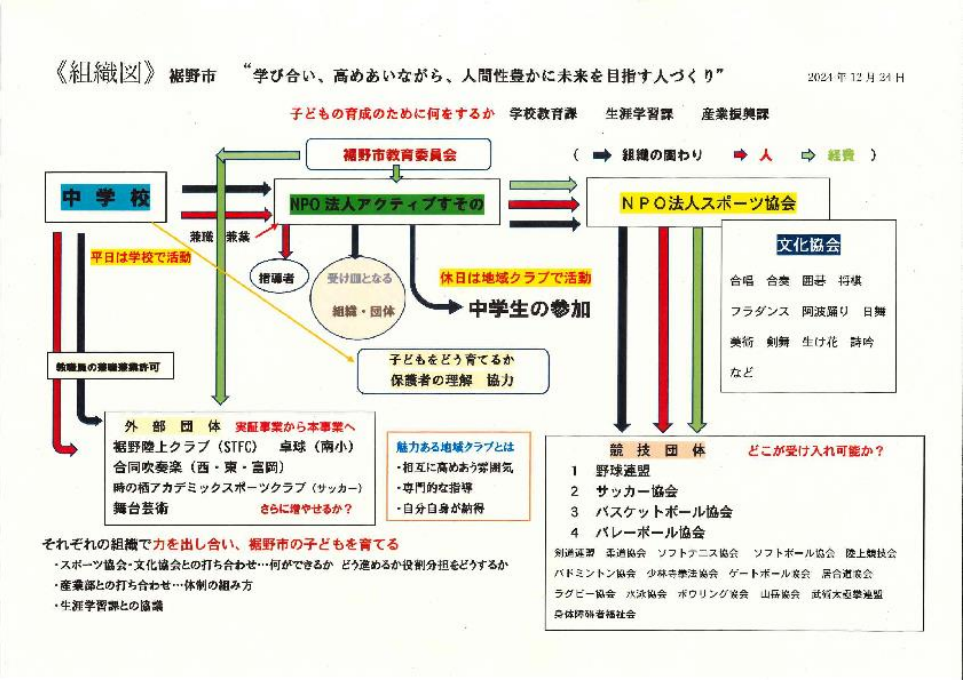
※令和10年以降は推計（住民基本台帳による未就学児人口より市独自推計）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課・・・部活動の在り方検討委員会・部活動改革検討委員会事務局、部活動の現状把握、学校調整

・生涯学習課・・・中学生の地域スポーツ活動の環境整備

◉首長部局

・産業観光スポーツ課・・中学生の地域スポーツ活動の環境整備

年間の事業スケジュール

令和６年４月	裾野陸上クラブ（STFC）活動の実施
令和６年６月	部活動の在り方検討委員会の開催
令和６年８月	クラブとの意見交換会実施
令和６年９月	部活動改革検討委員会の開催
令和６年10月	部活動の在り方検討委員会の開催
令和６年12月	部活動改革検討委員会の開催
令和７年１月	部活動の在り方検討委員会の開催
令和７年１月	指導者講習会の開催
令和７年２月	小学６年生へのニーズ調査

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（3 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	4 人	全体の運営スタッフ数	2 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
裾野陸上クラブ（STFC）	地域移行・運営型	陸上競技	月 2 回	休日 9:00-11:30 又は 18:00-20:00	中1　4名 中2　2名 中3　2名	令和6年4月～	裾野市陸上競技場	4 人	2 人	月会費 1,000 円	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

特になし

2.実証内容と成果

スポーツ庁

主な取組例

●NPO法人アクティブすその　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	裾野陸上クラブ（STFC）
期間と日数	陸上競技：４月20日 ～ ３月15日 月２回程度
指導者の主な属性	大学教授・地域クラブ指導者
活動場所	裾野陸上競技場
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	陸上競技：12,000円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、行政、学校、保護者との連携を行う

●主任指導者　１ 名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者　２ 名

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

広域的な活動を行う総括コーディネーターを１名配置し、NPO法人、関係団体、関係委員会、市との連絡調整・指導助言を行う。

各種目の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

取組の成果

〇総括コーディネーターを運営団体に配置したことにより、関係団体との連絡調整等を円滑に行うことができた。

〇スポーツ協会の団体と連携を取り、地域クラブとして何ができるか、今あるスポーツ関係の部活動ごと話し合いを持ったことにより、体制をどう整備したらいいかや指導者として活躍できる人材の確保についても見通しが持てるようになった。

〇裾野陸上クラブ（STFC）には１名の兼職兼業の職員が参加し、持続可能な運営ができる組織体制を整備した。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

・クラブを巡回し課題等のヒヤリング・助言等を実施

・協議会の調整等を実施し、関係団体や行政との連携に努めた。

・学校、参加者、指導者への連絡調整を実施

今後の課題と対応方針

・コーディネーター業務を担う人材の発掘・育成、資質向上を図る方策の検討を行う。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

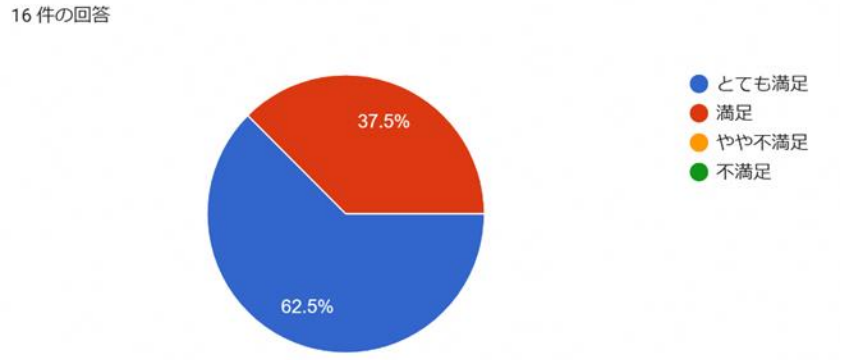
裾野陸上クラブ（STFC）の様々なつながりから、高校生・大学生・大学教授など幅広い競技者や指導者が確保できる。また、各学校や市教育委員会において、指導者を推薦、採用する。

裾野陸上クラブ（STFC）

・主任指導者
宮川千秋氏
東海大学名誉教授。短距離のオリンピックコーチを３度務め、100m・400mの前日本記録保持者を育てるなど日本短距離界の屈指の指導者
・指導者
山本祥平氏
市町駅伝裾野市コーチ。R5年度静岡県陸上選手権10000mで優勝
・兼職兼業職員１名（ハードル）

取組の成果

参加した中学生・保護者・スタッフ16人を対象としたアンケートの結果、回答者の62.5%がとても満足、37.5%が満足と回答した。練習会を終え、保護者からは、「丁寧でわかりやすい指導だった。」「子供たち全体からやる気と集中力が感じられました。」「レベルの高い練習に参加できて子供たちにとって、とても良い刺激になったと思います。」等感想をいただいた。



地域クラブ活動へ参加（参観）しての感想

令和６年度文化部実証事業アンケートより

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

〇講義

講師：東海大学名誉教授　宮川　千秋氏

内容：「地域クラブにおいて個々の自主性を高め、さらに高い主体性を生むことができるか」

ー「年間トレーニングプラン」の立案・提示・実践からその可能性を探るー

元陸上競技のオリンピックコーチである宮川氏の「プレーヤーセンタード」の考え方はプレーヤーを中心にしながら、それを取り巻く環境整備が大事でありパフォーマンスを最大限発揮できるように連携協力する関係であり、どの指導者にも心に響く講義であった。

指導者研修の参加実績

・開催日：　令和７年１月 30日
・開催回数：　１ 回
・参加人数：　18 人

この指導者研修会は、部活動指導員及び部活動外部指導者の研修も兼ねて行った。

受講者の声

・本日の先生の話や他の指導者の方の話を聞ける場はありがたいです。今後の自分の指導に役立てます。
・とても素晴らしい話が聞けました。自分の教育のやり方に変化を起こせそうな話でした。プランなど親を交えてやるのはいいことだなと思いました。
・指導法をわかりやすく説明していただきよかったです。他の指導者の意見も聞けて参考になりました。
・大変勉強になる研修会でした。中学生レベルに対して教えることの難しさを改めて感じました。その中で自分が持っている最適な指導で学業も含め、知識・技術を伝えていく必要を感じました。
・知的好奇心（言語・視覚的・情報）先生と同じ考え方とわかり安心しました。
・宮川先生のお話を聞いて、今、自分がやっている、考えていることに自信が持てたとともに指導に関してもとても参考になりました。他の指導者の方との意見交換もとても良かったです。
・宮川教授のお話はとても素晴らしい内容でした。

今後の課題と対応方針

・複数回の研修会の実施と効果的な研修内容の精選。
・指導者間の意見交換や交流する場の確保。
・部活動指導員や部活動外部指導が地域クラブ指導者になるための支援や環境整備。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

〇広域的な活動を行う総括コーディネーターを配置し、関係団体との連絡調整を行う。

〇事業の折には職員が出向き状況を把握する。また、裾野陸上クラブ（STFC）の役員と年３回打ち合わせを行う。

取組の成果

〇参加した中学生、保護者を対象としたアンケートの結果、回答者の96.4%が来年度も参加したい、参加させたいと回答。教員の残業時間が休日の部活動が減ったことにより平均８時間削減した。

〇STFCと打ち合わせ

・４月１９日（総括コーディネーター、市担当者、STFC役員）
　指導者の派遣、施設の利用、市からの負担金について話し合いを持つ。
・８月７日（総括コーディネーター、市担当者、STFC役員、地域おこし協力隊）
　市の地域おこし協力隊が練習の様子を見学。
　指導者確保について話し合いを持つ。
・１月１１日（総括コーディネーター、市担当者、STFC役員、スポーツ協会役員）
　R7の計画、平日の部活動との関わり、小学生の参加について話し合いを持つ。

今後の課題と対応方針

・地域クラブを持続可能なものにするためには指導者の確保が必須と考える。今後、指導者の確保や育成をどのようにしていくか。
・将来に渡り子供たちがスポーツや文化芸術活動に親しむことができる機会の確保が第一と考える。地域クラブの団体が持続可能な運営をするための仕組みをどのように構築するか。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

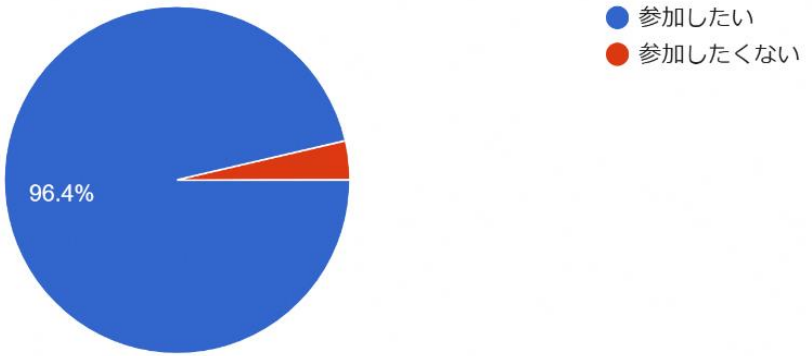
●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

〇生徒・保護者・スタッフにアンケートを実施し、質の向上を目指し、各団体の運営に生かす。
〇裾野市部活動の在り方検討委員会を開催し、他団体と課題を共有し、活動内容の改善を図る。

取組の成果

〇もっと地域クラブ活動の実施回数を多くしてほしいという声が多く、活動に満足している生徒が多くいた。
〇中学校に陸上部がない生徒の参加ができ、自分のやりたい種目にチャレンジでき充実感を感じている。
〇部活動の在り方検討委員会の中で、顧問と協力団体との話し合いが行われ、次年度の方向性が固まった。



来年度も地域クラブ活動に参加したいですか

令和６年度文化部実証事業アンケートより

今後の課題と対応方針

〇中学生・保護者を対象としたアンケート結果によるともっと活動回数を増やしてほしいという声が多くあった。しかし、回数を増やすことで受益者負担が２倍～３倍になると困るという回答もあった。
→令和７年度は、小学生や卒業した生徒も募集対象とする予定である。人数が増えることで、受益者負担が抑えられると考える。

〇様々な団体と協議を進める中で、各中学校の日課と団体の活動時間が合わないということが問題となった。
→各中学校の日課を市で統一する方向で検討。校長会に提案する予定である。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

〇陸上競技は分野が広く、陸上競技の経験者であっても全部を専門的に教えるのは難しい。そのため、裾野陸上クラブ（STFC）の協力のもと、生徒が陸上競技の専門的な指導を受け、その子なりに速く走れるようになったり、きれいなフォームになったりと自分なりの目標が達成できている。陸上競技をやってみたい、もっとやってみたい生徒を対象に募集をし、中学校に陸上競技部がない中学校からの参加があり、やりたい活動を将来に渡り、継続して親しむことができる機会の確保ができた。

　また、元オリンピックコーチの東海大学名誉教授　宮川千秋氏を招聘し、年間計画や実際の指導のノウハウ等の指導を受け実践した。

●成果の評価

〇裾野陸上クラブ（STFC）のつながりで全国的に有名な指導者を招くことができ、練習風景を見ると生徒のわくわく感が感じられた。また、他の指導者も勉強になり指導力が付いた。さらに、練習時に高校生・大学生・地域の方など幅広い競技者や一緒に活動していただいたことはとても刺激になり、さらなる活動への意欲につながった。

〇普段とは違う良い環境の裾野市陸上競技場で練習できたことで、練習するたびに記録が向上し充実感につながった。

〇総括コーディネーターが中心となり、部活動改革について行政と将来を見通した話し合いを持ち、一定期間援助を取得でき財源の確保ができた。

〇校長会から学校へ情報発信し、部活ごとの顧問会を開催し意見交換したことで、全体が関わる改革として前進した。

●今後に向けて

〇生涯にわたって活動ができるよう、地域クラブ活動に中学生だけでなく地域住民や小学生なども募集し、活動の幅を広げる。

〇地域クラブ活動への送迎の負担が保護者にあることから、保護者以外の送迎の手段を検討する。

→自転車・オンデマンドタクシー等を活用する。

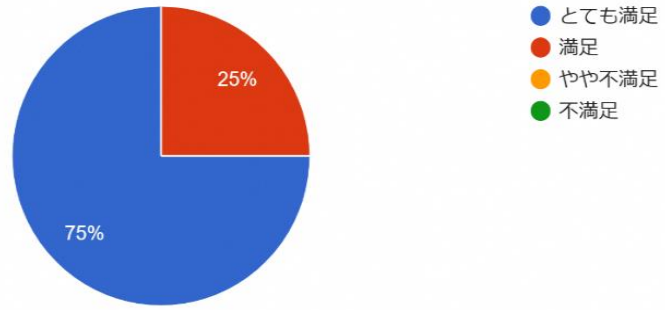
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

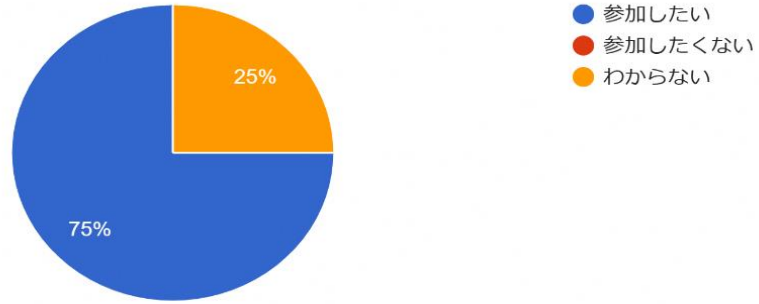
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q. 裾野陸上クラブ（STFC）の指導者についての感想を教えてください?



Q.来年度も裾野陸上クラブ（STFC）の活動を行いたいと思いますが参加しますか?



●参加者の声

中学２年生
　他校の生徒と関わったり、宮川先生の指導を受けたりといった貴重な経験をさせていただいて、来年度も実施するというのでぜひ参加したい。

中学１年生
　やる気のあるメンバーで、丁寧な指導を受けられたので、この１年、自分のやりたいことができ、とても充実していました。

指導者
　子どもたちの集中力ともっと早く走れるようになりたいという思いがひしひしと伝わってきました。とてもやりがいのある充実した活動でした。

保護者
　子どもたちの表情がいつもよかったです。いつもは大会でしか交流できないので、このように練習ができることは、子供たちにとって良い刺激になったと思います。ありがとうございました。

2.実証内容と成果③

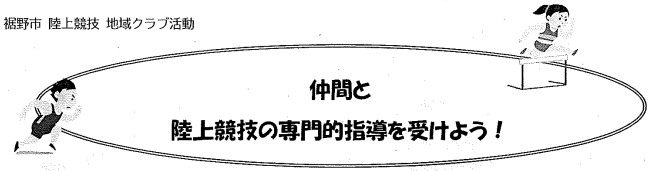
スポーツ庁

アンケート結果・広報資料

○令和５年度に裾野陸上クラブ（STFC）と裾野市教育委員会の連携により、市内の陸上競技部の合同練習会を６回実施。実施後のアンケートで「年度当初からやってほしい」の声を受けて令和６年度も月２回実施。

３期に分け、募集。コーチ陣も種目別にそろえ指導に当たっている。より速く走り、より高く遠くに跳び、より遠くに投げるために一緒に練習しよう。

裾野市 陸上競技 地域クラブ活動



文部科学省では、令和４年１２月に学校部活動及び新たな地域クラブの在り方等に関する総合的なガイドラインの中で、令和５年度から７年度までの３年間を「改革推進期間」とし、地域移行・地域連携に取り組むことを目指すことが示されました。

裾野市においても、生徒にとって、望ましいスポーツ・文化芸術活動の実現を図るため、様々な競技団体と連携を図りつつ、地域移行・地域連携について協議を進めています。令和５年度には裾野陸上クラブ（STFC）と裾野市教育委員会の連携により、市内の陸上競技部の合同練習会を６回実施しました。実施後のアンケートの中に「年度当初からやってほしかった」「３年生の中体連が終わるまでやってほしい」という意見もありました。令和６年４月から、学校部活動とは別に地域クラブとして、活動を持続可能な形としていくために、裾野陸上クラブ（STFC）の協力のもと、練習計画を作成しました。

中体連に向け、できるだけ種目別に指導者が付き、練習を行います。充実した練習になると思いますので、裏面のQRコードから奮って申し込みください。

○日時等（第１期）

※１期（４月～７月）２期（８月～１２月）３期（１月～３月）それぞれの期間で募集する。

回	月	日	曜日	時　間	備考
①	4	２０	土	9:00～11:30	
②	4	２７	土	9:00～11:30	
③	5	１５	水	18:00～20:00	昼間は陸上競技場がいっぱいで使用できないため
④	5	２９	水	18:00～20:00	
⑤	6	１５	土	9:00～11:30	
⑥	6	２２	土	9:00～11:30	
⑦	7	6	土	17:00～19:30	昼間は陸上競技場がいっぱいで使用できないため
⑧	7	１３	土	17:00～19:30	

○会　場　裾野市陸上競技場

○参加費用　保険代８００円（年間）　持参してください。
- ３年生　２０００円（４月・５月）
- ２年生　４０００円（４月～７月）
- １年生　３０００円（５月～７月）

※１回目の練習時に参加費用（保険代＋参加費用）を持参してください。

○持ち物　競技に必要なもの、水筒等　雨天；帽子・カッパ・着替え・タオル

【１期申込書】

STFC 指導者

氏　名	専門種目	所　属	紹　介
志村　直利	短距離	STFC　代表	陸上指導者歴 60 年。高岡中や裾野東中の外部指導者も行ってきた。
宮川　千秋	短距離	STFC　特別コーチ（東海大学名誉教授）	100ｍ,400ｍの前日本記録者を育てるなど日本短距離界屈指の指導者
小林　遥	短距離・走幅跳	STFC　コーチ	中学陸上競技歴 30 年。全中進十 400ｍで４位入賞や優勝の選手を育成。
山本　祥平	長距離	STFC　コーチ	市町駅伝裾野市コーチ。R5 年度東海陸上選手権 10000ｍで６位入賞
山中鳳秀和	長距離	STFC　コーチ	市町駅伝裾野市代表選手。5000ｍマスター又東海記録保持者
小林　由英	投擲	STFC　特別コーチ（長泉中陸上部顧問）	小学校時代から全国大会に出場。R6 年度東部選手権円盤投げ優勝
渡邊乃輝斗	短距離・ハードル	STFC　特別コーチ（裾野西中陸上部顧問）	中学校～大学まで陸上競技者として活躍。陸上競技指導者資格を取得

【コーチ陣の紹介】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

（ 活 動 写 真 ）



【リズムを大事にした練習】



【一人一人に声をかけその時の調子を確認する】



【準備運動は宮川氏の
指導のもと念入りに行う】

【夏場は暑い昼間を避け
夜の時間帯で練習】



2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年
いくつかの先進地域を訪問し、地域の現状や地域移行関連の取組、運営体制、課題等を学び、本市での有効な取り組みを検証。

令和５年
裾野陸上クラブ（STFC）の代表と陸上競技の地域クラブについて数回協議を重ねる。

地域クラブ活動を進める上でアンケートを取り、国の実証事業に手上げをし、地域移行する素地を作る。

令和５年
関係者へのヒアリング ▶ **協議会設置検討開始** ▶ **運営団体の選定** ▶ **合同練習会開催** ▶ **顧問と協議し、生徒、保護者への説明** ▶ **令和６年４月** **地域クラブ活動の開始**

年３回教員中心で行われている部活動の在り方検討委員会で、協議会設置を検討。

公益財団法人スポーツ安全協会のスポーツ等普及奨励助成事業に応募し、裾野陸上クラブ（STFC）の協力を得て、計６回の合同練習会を行った。多くの仲間と専門的指導者のもとで練習することにより、競技力や意欲の向上がみられた。

令和６年４月
裾野陸上クラブ（STFC）の協力を得て、裾野陸上競技場で月２回休日の地域クラブ活動をスタート。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

裾野市地域クラブ活動への移行に向けた事業スケジュール（予定）案

	R6	R7	R８	R９夏～
	国「改革推進期間」		「改革実行期間」	
	実証事業			
NPOアクティブすその	設立完了 コーディネーター配置	・兼職兼業の職員・地域指導者を地域クラブへ配置 ・学校・関係団体等との連絡調整 ・地域クラブの発掘、人材（指導者）の発掘 ・指導者の派遣管理、研修会　・各種検討委員会の運営補助		
	文化協会やスポーツ協会と連携			
学校部活動の再編	新入生説明会（休日の部活動廃止・地域クラブ活動の説明）			
	校長会・教頭会・職員に周知（１１月～）	・できる部活動から休日の学校部活動を地域クラブ活動へ	休日の部活動廃止 →地域クラブ活動に移行した部活動	
	中学校保護者説明会（参観日等）		卓球部移行時期（休日希望があれば対応）	休日の部活動完全廃止 →休日は地域クラブ活動
	顧問会 １月	陸上競技部移行時期（休日希望があれば対応）	○○○部移行時期（休日希望があれば対応）	
	生徒のニーズの調査			
地域クラブ関係	陸上	・陸上部の休日の部活動廃止（夏以降）		
	実証事業陸上競技部地域クラブ合同練習（月２回）	陸上競技部地域クラブ（週１回）		
	陸上競技部顧問会			
	陸上競技部保護者会			
	吹奏楽			
	実証事業吹奏楽部地域連携合同練習（年７回）	実証事業吹奏楽部地域連携合同練習（年２０回）	吹奏楽部地域連携合同練習（年２０回）検討中	
	卓球（山中）			
	実証事業卓球部地域クラブ合同練習（月４回）	実証事業卓球部地域クラブ合同練習（週１回）		
		卓球部保護者会	R7夏以降（西中・深中・東中）　卓球部地域クラブ（週１回）	
	野球			
	・裾野市合同チーム	裾野市合同部活動		
	野球部保護者会			
	サッカー			
		実証事業○○○部地域連携合同練習	裾野市合同部活動	
	中学校の部活動で、ある程度持続可能な活動	顧問会	保護者説明会	・NPOアクティブすそのから指導者を派遣（兼職兼業の職員を中心に元外部指導者等を充てる）
	中学校の部活動で、単独でチーム等が組めななくなる可能性がある活動	顧問会	保護者説明会	・合同で活動し、NPOアクティブすそのから指導者を派遣（兼職兼業の職員を中心に元外部指導者等を充てる）
	中学校の部活動で、文化協会・スポーツ協会と連携しながら取り組む可能性がある活動	顧問会		・協会と活動し、NPOアクティブすそのから指導者を派遣（兼職兼業の職員を中心に元外部指導者等を充てる）
	中学校のない部活動で、新しく取り組む可能性がある活動			・関係団体と連絡調整をしながら進めていく